

## 御 礼

本日はご多用のところ、齊藤仁 国士舘大学体育学部教授、全日本柔道連盟理事・同強化委員長の「お別れの会」にご参列賜り、厚く御礼申し上げます。

故人は、青森県から単身上京し国士舘高校・大学と歩み、本学柔道の礎を築きました。その後、日本柔道界をけん引する選手・指導者として多くの苦難を克服しながら偉業を成し遂げ、世界に日本柔道の強さを示しました。教育者としては、武道を通した礼節や感謝の気持ちの大切さを熱く教え授け、その姿は、まさに「国士」であり、誠意と気魄の人でありました。ここに生前に皆様から賜りました数々のご厚誼、ご高配に対しまして謹んで感謝申し上げますとともに、故人の安らかな眠りをお祈りいたします。

お別れの会 主催者代表  
学校法人 国士舘 大澤 英雄

## 御 礼

本日はご多用のところ、齊藤仁 国士舘大学体育学部教授、全日本柔道連盟理事・同強化委員長の「お別れの会」にご参列賜り、厚く御礼申し上げます。

故人は、本連盟の強化コーチ、男子監督として日本柔道の強化と後進の育成に努め、特に、強化委員長として昨年の世界選手権等の大会は、男女ともに好成績に導くなど、今後のオリンピック等の国際大会に向けた大きな礎石を日本柔道界に刻みました。また、本連盟の理事・強化委員長として、日本柔道の再建、発展に最後までその職責を果たされたのです。ここに生前に皆様から賜りました数々のご厚情に対しまして謹んで感謝申し上げますとともに、故人の御霊の安らかならん事をお祈り申し上げます。

お別れの会 主催者代表  
公益財団法人 全日本柔道連盟 宗岡 正二

柔道は勝って当然と思われる。常勝を義務づけられている。金メダル以外は負けに等しい。金メダルを期待されたなかでそれを獲る難しさとプレッシャーは、経験した者でなければわからないだろう。——国のために勝てと言うつもりなどない。自分のためがいい。両親のためでもいいし、家族のためでもいい。それぞれの大切なもののために自分は日の丸を背負っているのだといま一度かみしめてほしいのである。日の丸は、その象徴なのだ。

齊藤 仁著『常勝力』より

[表紙のことば]

『剛毅朴訥（ごうきぼくとつ）』

論語の一節「剛毅木訥仁に近し」より。「意志がしっかりしていて飾り気がないのは道徳の理想である『仁』に近い」という意味で、齊藤仁は国士舘高校の恩師から贈られたこの言葉を座右の銘とし、自らを律しました。

国士舘大学体育学部教授 全日本柔道連盟理事・同強化委員長  
ロサンゼルス五輪・ソウル五輪 金メダリスト

# 齊藤 仁

## お別れの会

木 剛  
訥 毅

日時	平成27年3月15日 [日] 午後1時～午後2時30分
場所	東京プリンスホテル 鳳凰の間
主催	学校法人 国士舘 公益財団法人 全日本柔道連盟